

# 帰国後技能実習生のフォローアップ・アフターケア等に関する取組好事例

外国人技能実習機構

## 東京都 A監理団体

【実習生の国籍】ベトナム、中国、インドネシア、タイ、モンゴル、カンボジア、スリランカ、ミャンマー

【実習生の職種】耕種農業、畜産農業、建築大工、とび、左官、配管、防水施工、建設機械施工、築炉、加熱性水産加工食品製造業、水産練り製品製造パン製造、そう菜製造業、婦人子供服製造、鋳造、金属プレス加工、鉄工等

【ポイント】 ✓送出機関、現地企業、実習実施者及び監理団体の間で技能実習制度に効果的なサイクルを構築、技能実習を修了後、幹部候補として復職

送出機関と現地企業が連携・提携し、実習生候補者の推薦や帰国後の再就職を斡旋

ベトナムの送出機関、現地企業、実習実施者及び監理団体の間で技能実習制度に効果的なサイクルが構築された。実習生が技能実習を修了して帰国した後は送出機関の提携先である水産会社が製造ライン責任者や幹部候補として積極的に再雇用している。技能実習修了後に母国での就職先が確保されていることは実習生の失踪を防ぐことにもつながっている。同社はサバ、イワシ、エビ、貝類などの加工や輸出などを行っているところ、商機拡大による日本への輸出のため、水産加工技術に習熟し、かつ日本語ができる人材を必要としていた。同社の責任者は送出機関の職員と共に、年に1回来日し、実習実施者を訪問して交流を図り、その際に実習実施者と実習生にヒアリングをして、問題点の解消もした。また、技能実習修了予定の実習生からは帰国後の就職について話を聞き、同社への就職を希望した実習生は全員雇用している。同社では元実習生を水産加工食品工場の製造ライン責任者や作業員の管理、通訳、営業、貿易取引業務などの担当者として採用している。同社にとって、元実習生が日本で習得した技術もさることながら、3年間の実習生活を満了したということ、日本語が話せるということもメリットであるという。同社で仕事を頑張れば、技能実習生として日本の技術を学ぶことができるというのは、社員の仕事へのモチベーション向上につながるという。

技能実習で技術や日本語を習得後、幹部候補として復職

同サイクルのもとで、技能実習を行い帰国したBさんは、非常に優秀な実習生で、コミュニケーション能力も高く、大変真面目に実習に取り組んでいた。Bさんは、こつこつ努力するタイプで、実習開始当初から熱心に日本語の勉強を続け、日本語能力試験N3に合格した。帰国後は水産会社に幹部候補として復職した。Bさんは、管理者として働きながら、通訳、営業、貿易取引などの仕事も任され、キャリアを積んでいる。